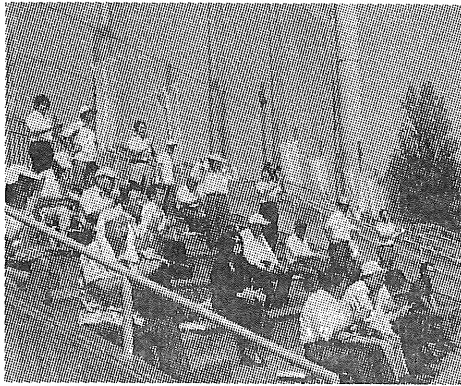


大手引抜鋼管メーカーの旭鋼管工業(本社・埼玉県草加市、社長・若林毅氏)軟式野球部は22日、東京都八王子市の八王子市民球場で行われた天皇賜杯第65回全日本軟式野球大会決勝戦で香川県代表の日本通運四国に3対2で敗れ、惜しくも準優勝となった。

2回表に1点を先制した後、相手のホームラン攻勢で2対1と逆転される厳しい展開。最終回には同点に追いつく粘りツトと相手エラーで見せたが、その裏

天皇賜杯軟式野球大会

旭鋼管工業 準優勝



選手を讃える応援団

業界団体関係者や取引先などから多数応援に詰め掛けた。若林社長は「全国制覇にあと一歩のところまで迫った選手は、本当によく頑張った。今年の悔しさは選手個々人が一番感じているはず。まだ若いチームだから、来年以降さらに上をめざしてほしい」と、5日間で延長戦2試合を含む計6試合を戦い抜いた選手を讃えた。